

令和6年度 和歌山市立小倉小学校 スクールプラン

和歌山市学校教育指針

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 道徳教育の充実
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 特別支援教育の充実
- ◇ 不登校・いじめ問題の解消
- ◇ 子供の安全確保の徹底
- ◇ 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- ・基礎学力の修得
- ・子供の健やかな成長
- ・地域交流の推進
- ・情報の積極的発信

【学校教育目標】

豊かな心情を持ち、よく考え、健康できまりある行動のできる子を育てる

【めざす児童像】

- ・豊かな心を持ち、みんなで仲良くする子
- ・進んで学び、よく考える子
- ・心身とも健康で、生き生きした子

前年度の学校評価

教育目標は、学校・児童・地域にとって適切である。学力においては、さらに成果が実感できるような学習方法を工夫したい。いじめアンケートなどの結果を受け、今後も早期発見・早期対応し、相手を思いやる心の育成に努めたい。

児童の実態

恵まれた自然環境と落ち着いた地域や家庭の環境の中、純朴純真に育っている子が多く、思いやりがあり、優しく親切な面がよく見受けられる。

学校訪問者からは、真面目に学習に取り組む態度が身についた、明るく元気な子どもたちであるという評価を頂いている。

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎学力の充実
- 言葉の力の育成
- 教員の授業力向上

豊かな心の育成

- ◎挨拶のできる子の育成
- 道徳・人権教育の充実
- 障がい者、高齢者との交流活動の推進

健やかな体の育成

- ◎運動に親しむ習慣づくり
- 食育の推進
- 保健教育の充実
- 危機回避能力の育成

地域に開かれた学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎学校ボランティア活動の充実
- 地域行事への参加・協力

具体的な取組

- ・一人一人の学力把握に努め、個に応じた指導を進める。
- ・基礎・基本的な学力の定着のため、補充的な学習を行う。
- ・音読、暗唱、視写などの活動を学習に取り入れ、言葉の力の育成を図る。
- ・ICTを積極的に活用し、GIGAスクール構想を浸透させ「個別最適な学び」「共同的な学び」を充実させる。
- ・読書活動の推進に努める。
- ・客員指導主事の方にも指導を仰ぎ、国語科の授業研究を糸口に、授業力の向上を図る。

- ・時間を守り、あいさつ、掃除など、学校生活の中での基本的生活習慣について、徹底して指導する。
- ・生活点検活動を行い、規律ある生活習慣を身につける。
- ・読書習慣の定着・充実のための取り組みを行う。
- ・いじめアンケートをもとに、未然防止・早期発見・早期対応に努める。
- ・「特別の教科 道徳」の教材研究を進める。
- ・障がい者、高齢者施設や地域団体との交流を深める。

指標

- ・自学自習の力をつけ、学習内容の習熟度を全国平均に近づける。
- ・児童主体のわかる授業が実践できた。(児童・教師90%)

- ・学校生活が楽しいと感じる。(児童90%)
- ・いじめの解消率を100%にする。

- ・体育の授業の充実を図り、誰でも親しめるスポーツを導入するなど、児童が積極的に運動に親しむ環境の整備に努める。
- ・学校給食や地元特産物と関連づけた効果的な食に関する指導を進める。
- ・絵本に登場する料理を給食の献立に取り入れて、読書の推進につなげる。
- ・心身の健康に関わる課題に対応するため、専門家による授業をとりいれ、学校保健を充実する。
- ・避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力の育成に努める。

- ・積極的に運動を行える環境を整え、実践する。(教師90%)
- ・食育を推進し、給食の残食が全校で1日1kg未満になるようにする。

◎：特に重点的に取り組むこと